

彫刻、造形、立体等三次元作品は必ず具体的な物体を加工や再構築等にして作品化する。その素材は絵画とは異なり芸術制作のために作り出されたものではない。彫刻等の素材はつねに、人間の生活環境の内に存在し運用している。そしてそれらは、生み出された時代の世界観がその素材の物語となる。その素材を使用する芸術家は、その物語も含めて具現化していく。

彫刻、造形、立体とは異なるものとしてオブジェ (Objet) というものがある。オブジェの正体は近代 (芸術) が重視した自立性という概念を内包した作品の一つの形態であると私は考えている。オブジェはダダイズム、シュールレアリスムから生まれた。当時彫刻でも絵画形態ではなく、新たな芸術形態として生まれた。そのほとんどの作品は、私たちの日常にある道具が再構成されて作品化されている。オブジェ特有の素材である道具、その道具とは人間が生活の便宜のため作り出したものであり、支配関係が強いもので人間と対等な客体物ではない。その道具を複数組み合わせることで、その機能を喪失させ無意味化すること。つまり道具としてより客体物としてあり、それによりオブジェは従属から自立へと位置付けることになった。

私が生体や生体鉱物の素材にこだわる理由は、美術の素材世界の歴史や様子に注目してきたからである。

日本現代美術の 60 年代、物質や非物質という言葉がキーワードとなっていた。後の 70 年代にはものという物質とは異なる日本人的概念に変化したように思える。私は物質からものという概念の変容で、もの概念が日本での美術の特性だと考えるようになった。

たとえば、私たちの生活において物質という言葉はあまり使わない。しかしものは一般的に使用している。日本文化において、ものの日常的概念が私たちの美術の基本的概念の一つとわたしは考えている。

物質とものの違いを辞書的に確認する。

物質―いわゆる「もの」のことで、生命や精神 (心) と対比される概念。……― Wikipedia

ここに「もの」ということばがあるが、次にものを調べてみると大変複雑なことがわかる。

もの―妖怪・怨霊など、不可思議な霊力をもつ存在。

「―に憑かれる」「―の怪」 Wikipedia

ものの説明の一つであるが、物質は、生命や精神 (心) と対比される概念とあったが、ものには、生命的精神的力が意味され、矛盾していることがわかる。

ものは多様な物体や状況など包括し世界を区分することを否定している概念と捉えた。

私は「自然でもあり人工でもある、自然でもないし人工でもない」を素材の選択とすることや、人が「支配する―支配できない」の間にあるものを見つめてきたその結果、豚の真皮素材 (表皮ではない) や、今回の蚕繭、真珠であったりする。

蚕は 5000 年ほど前人間がクワイという昆虫を家畜化し人工的に改造してきた。成虫になると口はなく翅は空を飛ぶようにはなっていない生物となる。真珠は二枚貝の内に紛れ込んだ異物を内の柔らかいからだから守るため自ら出す真珠層により異物の表面を摩擦の少ない面としていく。これらの物質は生体鉱物とも呼ばれている。人間の骨、歯、海老の表面などは生体鉱物と呼ばれている。

先ほど辞書的にみた物質という概念なら生命から一番遠いもののように感じられるが日本のもの概念からすれば、生命あるいはアニミズム的生命との関連が密接であることが理解できる。

そのような背景、物語を持つ物体が日本的もの概念の世界を創作する基礎となるように思える。

展示作品の説明

2023 年の個展 (gekillin gallery 大阪) では、蚕繭を数千個つなぎ合わせた高さ 2,500 cm 以上の作品 3 点、ハリセンボン (魚の剥製) の体表にある無数の棘に一本一本真珠を付けて、ラバーを貼った丸鏡の前に展示し、実態としてのオブジェと映り込んだ映像を見せる作品が 1 点、刺鉄線を腎臓と尿路に見立て有刺鉄線の針に真珠を付けた造形物をラバーの貼った円形の鏡の前に吊り、人間の腎臓同様左右でならべて展示をした 2 つで 1 点とする作品を展示した。

「かぐや」とタイトルを付けた蚕繭を数千個つなぎ合わせた作品は壁に展示したが、平面というよりレリーフ状にあり、繭の内なる面が表面になるようにしてある。その表面には 2 種類の金粉をレジンで塗りこんでいる。その金粉は外部からの光できらきら輝くがそれは繭で閉ざされた異質の空間として表象するために内を光らすためそれを使用した。

真珠と魚の剥製、有刺鉄線の使用は真珠の在り様と外部の関係を注視していた。内にあるものが外部に表出し、そのオブジェは鏡に貼られたラバーに鈍く映り込む。鑑賞者の姿もラバーを通して作品の映像と一体化する。内と外が反転するようにした。

たましいと鉱物、そして生体鉱物 (あいだ) への作者からの思いが作品制作を通して具現化することができた。